

# 残留農薬検査(平成27年度 その1)

当所では、横浜市内に流通する農産物等の食品に残留する農薬の検査を行っています。平成25年度に検査項目の見直しを行い、農産物ごとに検査項目を設定しました。

今回は、平成27年4月から6月までに食品専門監視班及び各区福祉保健センターより搬入された農産物等の検査結果を報告します。

## 1 市内産農産物

4月に搬入されたトマト(5検体)、ほうれんそう(4検体)、キャベツ、こまつな、じゃがいも及びだいこんの根(各1検体)、5月に搬入されたキャベツ、トマト、レタス(各3検体)、こまつな、さやえんどう、だいこんの根、ふき、ブロッコリー及びほうれんそう(各1検体)、6月に搬入されたなす(2検体)、きゅうり、こまつな、さやいんげん、トマト及びみずな(各1検体)の計35検体について検査を行いました。これらの結果を表1に示しました。

その結果、きゅうり、こまつな、さやいんげん、レタス各1検体、ほうれんそう2検体及びトマト6検体から計10種類19項目の農薬が検出されました。しかし、残留農薬の基準値を超えるものはありませんでした。検査項目及び検出限界については表2に示しました。

## 2 国内産農産物

6月に搬入されたきゅうり、じゃがいも、だいこんの根、トマト及びなす(各1検体)の計5検体について検査を行いました。これらの結果を表1に示しました。

その結果、きゅうり及びトマトから計2種類2項目の農薬が検出されましたが、残留農薬の基準値を超えるものはありませんでした。検査項目及び検出限界については表2に示しました。

今回の検査で多く検出された農薬の概要については、7ページからの【農薬解説】を参考にしてください。

表1 残留農薬検査結果

(H27年4月～H27年6月)

農産物	産地	検査検体数	農薬検出検体数	検出農薬名	検出値(ppm)	基準値(ppm)			
<b>市内産農産物</b>									
キャベツ	横浜市	4	0						
きゅうり	横浜市	1	1	アゾキシストロビン	0.04	1			
			1	クロルフェナピル	0.03	0.5			
こまつな	横浜市	3	1	アゾキシストロビン	0.04	15			
さやいんげん	横浜市	1	1	ボスカリド	0.02	5			
さやえんどう	横浜市	1	0						
じゃがいも	横浜市	1	0						
だいこんの根	横浜市	2	0						
トマト	横浜市	9	2	アセタミプリド	0.02、0.03	2			
			1	アゾキシストロビン	0.02	3			
			1	クロルフェナピル	0.02	1			
			1	シアゾファミド	0.02	2			
			1	チアクロプリド	0.02	1			
			1	フルフェノクスロン	0.03	0.5			
			1	ペルメトリン	0.06	1.0			
			4	ボスカリド	0.02、0.03、0.05、0.19	5			
			なす	横浜市	2	0			
			ふき	横浜市	1	0			
ブロッコリー	横浜市	1	0						
ほうれんそう	横浜市	5	1	アゾキシストロビン	0.05	30			
			1	テフルトリン	0.02	0.5			
みずな	横浜市	1	0						
レタス	横浜市	3	1	イミダクロプリド	0.02	3			

表1 残留農薬検査結果(続き)

農産物	産地	検査 検体数	農薬検出 検体数	検出農薬名	検出値 (ppm)	基準値 (ppm)
国内産農産物						
きゅうり	山形県	1	1	クロルフェナピル	0.02	0.5
じゃがいも	茨城県	1	0			
だいこんの根	群馬県	1	0			
トマト	北海道	1	1	アセタミプリド	0.01	2
なす	高知県	1	0			

表2 農薬の検査項目及び検出限界

農薬名	検出 限界 (ppm)	検出			農薬名	検出 限界 (ppm)	検出		
		A*1	B*1	C*1			A	B	C
BHC ( $\alpha, \beta, \gamma$ 及び $\delta$ の和)	0.005	○*2	-*2	-	ジウロン	0.01	○	○	○
DDT (DDE,DDD,DDTの和*3)	0.005	○	○	○	ジオキサベンゾホス	0.01	○	○	○
EPN	0.01	○	○	○	ジクロフェンチオン	0.01	○	○	○
アクリナトリン	0.01	○	○	○	ジコホール	0.01	○	○	○
アザメチホス	0.01	○	○	○	シハロトリン	0.01	○	○	○
アジンホスメチル	0.01	-	-	-	ジフェノコナゾール	0.01	○	○	-
アセタミプリド	0.01	○	○	○	シフルトリン	0.01	-	○	○
アゾキシストロビン	0.01	○	○	○	シフルフェナミド	0.01	○	○	-
アニロホス	0.01	○	○	○	シペルメトリン	0.01	-	○	○
イプロバリカルブ	0.01	○	○	○	ジメチリモール	0.01	-	-	○
イプロベンホス	0.01	○	○	○	ジメトモルフ	0.01	○	○	○
イミダクロプリド	0.01	○	○	○	スルプロホス	0.01	○	○	○
インダノファン	0.01	○	○	○	ダイアジノン	0.01	○	○	○
インドキサカルブ	0.01	○	○	○	ダイムロン	0.01	○	○	○
エチオン	0.01	○	○	○	チアクロプリド	0.01	○	○	○
エトプロホス	0.005	○	○	○	チアメキサム	0.01	○	-	○
エトリムホス	0.01	○	○	○	テトラクロルビンホス	0.01	○	○	○
エポキシコナゾール	0.01	-	-	○	テトラジホン	0.01	○	○	○
エンドスルファン ( $\alpha$ 及び $\beta$ の和)	0.005	-	○	-	テブチウロン	0.01	○	○	○
エンドリン	0.005	-	○	-	テブフェノジド	0.01	○	○	○
オキサミル	0.01	○	○	○	テフルトリン	0.01	○	○	○
オキシカルボキシ	0.01	○	○	○	トラルコキシジム	0.01	○	○	○
オリザリン	0.01	-	○	○	トリチコナゾール	0.01	○	○	○
カズサホス	0.01	○	○	○	トリフルムロン	0.01	○	○	○
カフェンストロール	0.01	○	○	○	トルクロホスメチル	0.01	○	○	○
カルバリル	0.01	○	○	○	ノバルロン	0.01	-	○	○
カルプロパミド	0.01	○	○	○	パラチオン	0.01	○	○	○
クミルロン	0.01	○	○	○	パラチオンメチル	0.01	○	○	○
クロキントセット-メキシル	0.01	○	○	○	ピフェントリン	0.01	○	○	○
クロチアニジン	0.01	○	○	○	ピラクロストロビン	0.01	○	-	-
クロマフェノジド	0.01	○	○	○	ピラゾリネート	0.01	-	-	○
クロリダゾン	0.01	○	○	○	ピリフタリド	0.01	○	○	○
クロルピリホス	0.01	○	○	○	ピリミカーブ	0.01	○	○	○
クロルピリホスメチル	0.01	○	○	○	ピリミホスメチル	0.01	○	○	○
クロルフェナピル	0.01	○	○	○	ファモキサドン	0.01	○	○	○
クロルフェンソン	0.01	○	○	○	フェニトロチオン	0.01	○	○	○
クロルフェンビンホス	0.01	○	○	○	フェノキシカルブ	0.01	○	○	○
クロロクスロン	0.01	○	○	○	フェノブカルブ	0.01	○	○	○
シアゾファミド	0.01	○	○	○	フェリムゾン	0.01	○	-	-
シアノフェンホス	0.01	○	○	○	フェンアミドン	0.01	○	○	○
シアノホス	0.01	○	○	○	フェンクロルホス	0.01	○	○	○

表2 農薬の検査項目及び検出限界(続き)

農薬名	検出限界			農薬名	検出限界			
	(ppm)	A	B		(ppm)	A	B	C
フェンスルホチオン	0.01	○	○	ヘプタクロル(エポキシドを含む)	0.005	○	-	-
フェントエート	0.01	○	○	ペルメトリン	0.01	○	○	○
フェントラザミド	0.01	○	○	ペンシクロン	0.01	○	○	○
フェンバレレート	0.01	-	○	ベンゾフェナップ	0.01	○	○	○
フェンピロキシメート	0.01	-	○	ベンダイオカルブ	0.01	○	○	○
フェンプロパトリン	0.01	-	○	ペントキサゾン	0.01	○	-	-
ブタフェナシル	0.01	○	○	ボスカリド	0.01	○	○	-
ブタミホス	0.01	○	○	ホスチアゼート	0.01	○	○	○
フラメトピル	0.01	○	○	マラチオン	0.01	○	○	○
フルシトリネート	0.01	-	○	メタベンズチアズロン	0.01	○	○	○
フルバリネート	0.01	-	○	メキシフェノジド	0.01	○	○	○
フルフェナセット	0.01	○	○	メビンホス	0.01	○	○	○
フルフェノクスロン	0.01	○	○	モノリニューロン	0.01	○	○	○
フルリドン	0.01	○	○	ラクトフェン	0.01	○	○	-
プロシミドン	0.01	○	○	リニューロン	0.01	○	○	○
プロチオホス	0.01	○	○	リンデン( $\gamma$ -BHC)	0.002	○	○	○
プロピザミド	0.01	-	○	ルフェヌロン	0.01	-	○	○
ヘキサフルムロン	0.01	○	-					

\*1 A:こまつな、さやいんげん、さやえんどう、トマト、ブロッコリー、ほうれんそう、みずな

B:キャベツ、きゅうり、だいこんの根、なす、ふき、レタス

C:じゃがいも

\*2 ○:実施、-:実施せず

\*3 DDTは*p,p'*-DDE、*p,p'*-DDD、*o,p'*-DDT及び*p,p'*-DDTの和

### 【農薬解説】

#### ○アセタミプリド

『モスピラン』などの商品名で販売されている殺虫剤で、広範囲の害虫に対して効果があります。平成26年度に実施した検査において、だいこんの葉(市内産)からも検出されました。

#### ○アゾキシストロビン

『アミスター』などの商品名で販売されている殺菌剤で、多くの菌類に対し強い抗菌効果があります。

平成26年度に実施した検査において、なす(市内産)、アスパラガス、トマト(国内産)、レモン(アメリカ産)からも検出されました。

#### ○クロルフェナピル

『コテツ』などの商品名で販売されている殺虫剤です。多くの野菜に適用があり、従来の殺虫剤に耐性がある害虫に対しても効果があります。

平成26年度に実施した検査において、だいこんの根やだいこんの葉、なす(市内産)、トマト(国内産)などからも検出されました。

#### ○ボスカリド

『カンタス』などの商品名で販売されている殺菌剤で、菌核病菌や灰色カビ病菌などの感染を防ぐ効果があります。平成26年度に実施した検査において、はくさい(国内産)からも検出されました。

### ※参考文献

・社団法人日本植物防疫協会、農薬ハンドブック2011年版